



1996-97年度 RI テーマ

Luis Bisen Jai
 ルイス・ビセン・ジアイ
 1996-97 RI 会長

■■■ 築け未来を 行動力と先見の眼で ■■■

第2560地区 — 吉田 昭 平
 ガバナー — 吉田 昭 平
 会 長 — 捧 賢 一
 会長エレクト — 五十嵐 総 一
 副 会 長 — 細 井 増 雄
 幹 事 — 五十嵐 昭 一
 副 幹 事 — 佐 野 勝 栄
 S A A — 菊 池 涉
 副 S A A — 山 浦 日出夫

例 会 日 — 毎週水曜日 12:30 ~
 例会場及び — 三条市旭町 2-5-10
 事 務 局 — 三条信用金庫本店内
 例 会 場 — TEL 35-3311
 事 務 局 — TEL 35-3477
 FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 62名
先々週出席率	100%

ヴィジター

三条南より
 渡辺一郎さん、相田明雄さん

ゲ ス ト

元営林署職員 関根依智朗殿

先週のメイクアップ

5/8 見附へ
 榎本 勝さん

5/12 三条南へ
 岩井数央さん、熊倉昌平さん、
 平原信行さん、樺山 仁さん、
 鈴木宗資さん、渡辺勝利さん

5/13 三条北へ
 細井増雄さん、高橋一夫さん、
 渡辺宏策さん、岩井数央さん

会長代理挨拶

高橋一夫会長代理



三条祭りは明日からですが、最近行列に出る人が大変少なく、人を集めるのに苦労しております。三条祭りは昔、各町内の人達が大きな町内の旗を掲げて、おともについていたんですが、今では全く見られなくなりました。東京に住んでいる友達が還暦の祝いを三条でしようと言いついて、それでは三条祭りの日に行い、行列に参加しようと言う事になり、25人の参加で、「還暦を祝う会」の大きな立派な旗を持って参加する事になりました。今年宮司さんと一緒に、大口寄付をお願いに廻りながら、宮司さんが昔は今で言う成人式を終った人達が参加していましたが、今は無理だろうから、企業に新入社員を参加させる事をお願いしようと、新入社員はまだそんなに戦力になっていないだろうから、一日位遊ばせてもいいだろうと寄付を廻りながら、そんなお話をさせて頂きました所、三条信金さん、パール金属さん、そして私の三社、

そして前から企業参加しておられる東北電力さん、合せて新規20人の人達が参加する事になりました。明日の大名行列は、初めて還暦の人達、そして新入社員が参加する事になり、これが定着すれば行列の人集めに苦労しなくてもよくなると思います。明日のお天気が良くなる事を願いながら、大名行列のPRをかねて、私の挨拶と致します。ありがとうございました。

幹事報告

五十嵐(昭)幹事

◎1996～97年国際ロータリー第2560地区ローターアクト研修会のご案内がとどいております。

とき 5月31日(土)、
6月1日(日)

ところ 新潟県立青少年研修センター

◎三条RC40周年慰労会をおこないます。

とき 5月21日(水)PM6:30～
ところ 二洲楼

会費 お一人 5,000円

ニコニコBOX



林 光輝さん

故橋 純一の葬儀には丁重なる御弔間、御焼香を賜り誠に有難うございました。また、高橋一夫葬儀委員長に深く感謝申し上げます。

日戸平太さん

40周年記念式で表彰を受けました。ニコニコしています。

高橋一夫さん

アシタ天気ニナ～レ!

荻根沢隆雄さん

三堀さん、先日は大変お世話になりました。少ないですが出演料です。

藤田説量さん

40周年大変よく出来ました。会長実行委員長、みなさんに感謝します。

広岡豊作さん

先日子科練の会に出席しました。15～16歳の子供が厳しい1年間の訓練を受けた仲間が現在70歳を生きる支えとなっていると感じました。

佐野勝栄さん

ようこそいらっしやいました。関根さんには下田村の緑を守る会ではお世話になっています。卓話を楽しみにしています。

清水良一さん

本日の卓話の関根依智朗様を歓迎して。

古澤富雄さん

卓話担当で、本日は関根依智朗さんに

お願いしました。関根さんに感謝申し上げます。

松谷昊吉さん

関根さん卓話ありがとうございます。

丸山行彦さん

三条祭が良い天気でありますように。

斎藤弘文さん

三条祭り、雨が降らないようお祈り致します。

五十嵐晋三さん

明日の三条祭りが晴れますように。

佐久間勝敏さん

この日曜日、今期最初のクロダイ乗り込みが始まりました。今年初めて寺泊水族館裏のテトラで40cmのクロダイ1枚を釣りました。水深1.5m、波は高く、海水は濁っておりました。都合により早退します。

佐藤 武さん

念願の松縄さんとのゴルフのラウンドが出来ましたことを喜んでおります。雨風でしたが大変楽しかったです。又、お願い致します。

熊倉昌平さん

創立40周年を祝して。

高畑 昭さん

今日早退させて頂きます。

5月14日分

¥44,000



卓 話

森林の働きとその現状

元営林署職員 関根依智朗殿



森林の働きとして森林は建築材をはじめ、家具、楽器、紙パルプはもとより医薬品、化粧品などの原料となる木材を生産し、木炭は水質の浄化土壌改良に役立ちます。

1ヘクタールの森林は66人分の酸素を生産し、二酸化炭素を吸収してくれます。スギノキはブナノキの2.5倍の二酸化炭素を固定します。

また1ヘクタールの森林は、200ℓ入りのドラム缶10,000本分の保水機能を有し、ブナノキはスギノキの3倍です。

森林のない山は降水量の10%しか土中に浸透しませんが、森林がある山では50%が土中に浸透し、地下水となって私たちの飲料水等に役立っています。

それに、今日脚光を浴びている森林浴一すなわち、入林することによってストレスの解消、骨粗しょう症の予防、ボケ

防止などに役立つ効用もっています。

このような森林の効用は医学的にも科学的に証明されており、このことをフィトンチッドと呼んでいます。

マツヤニの香りは動脈硬化の予防、ブナノキは消毒剤の原料にスギの葉は生肉の腐敗予防に効用がありますし、ヒバ材を使用した家には、蚊が3年も入らないとか、ヒノキ材は白蟻を殺消すると言われています。

これは、木が病害虫を寄せつけないために発散する揮発性の成分によるもので、この成分を私たちが体内に取り入れたり、肌にふれることによって効用が発揮されるのです。

昔の人はフィトンチッドが医学的、科学的に証明される以前から利用していました。

今日でも利用されていますが、チマキ、笹ダンゴ、桜モチ、柏モチ、シソの葉、ショウブ湯などがそれです。

そのほかに森林は大気、水質の浄化、防火、土砂流出の防止、魚類の繁殖、野生鳥獣の防護など多面にわたっています。1合の酒を下水に流すと魚が棲める水質にするには200ℓ入ドラム缶36本分7,200ℓの水が必要であり、ミソ汁200mlで5.3本、1,060ℓの水が必要になります。

土砂流出防止の関係では、森林があるところでは年間1ヘクタール当り2トンなのに森林のないところでは、307トンの土砂が流出し、ダム機能を低下させ魚介類、海草類の繁殖にも深くかかわって

います。河川の上流にある豊かな森林は植物プランクトンを海に注ぎ、それが魚介類等のエサとなって繁殖を助けているのです。

このことが判明して宮城県や北海道の漁協では自らの事業として山に植林をし、森林の造成に取りくんでいます。

以上、申し上げたような森林の働きを「森林の公益的機能」と呼び、年間39兆2,000億円にものぼると政府は試算しています。この価値は貨幣に換算し、国民1人当りにして約33万円となり、私たちは毎年この森林の恩恵を受けていることとなります。

このように私たちの暮らしにとってかけがえのない森林にかかわる環境はどうなっているのでしょうか。

今日の森林環境問題について「カラスの飛ぶ姿を見ない日があってもマスコミにこの問題がニュースにならない日はない」と言ってもいいほど、連日のように報道されていると思います。

このことはそれだけ森林は荒廃し、環境が悪化している「証」ではないでしょうか。

まず、地球の温暖化から見てみたいと思います。最近、南極の「氷」が解けたというニュースが報道されましたように、そこまで地球の温暖化は進行しています。

地球温暖化現象の主要な原因のひとつは「二酸化炭素」の問題です。3年毎に1%ずつ増加し、このままいくと21世

紀末には倍増し、平均気温は3℃上昇すると言われています。その結果海水面は1.4~2.2mの上昇が予測されています。ちなみに三条市内で一番低いと言われる「鶴田」の標高は5.8m、新川の信濃川出口の水目が4.0mですから2.4m上昇すると「鶴田」は水びたしになる計算が成り立ちます。暑い暑いと言ってクーラーが品不足になった平成6年の平均気温は2℃上昇したに過ぎません。3℃上昇しますと気温の水平分布で200~300km北へ移動し、その結果死滅する動植物が現れ、農作物への影響も考えられ、食料不足になると言う学者もいます。

1960~1990年のこの30年間で50万人以上の都市で0.7℃上昇しています。高田では0.3℃上昇しています。

森林のとりわけ貴重な熱帯雨林は、地球の温暖化、焼畑などによって毎年日本の人工林にひびてくる1,100万ヘクタールが消滅し、600万ヘクタールが砂漠化しています。

この速度で森林が消滅しますと、地球上の森林は400年でなくなってしまう。この速度は1分間に20ヘクタール、1秒間に3,330㎡の森林が消滅している計算になり、世界で一番速い男と言われたベンジョンソンやカールルイスが走るスピードより早い速度で森林は消滅しています。

日本では、1,984~1,994年の10年間だけで13万ヘクタールの森林が無くなっています。これは酸素の生産量で858万人

分、保水量では200ℓ入ドラム缶13億本分にひびきする森林が無くなっています。今ひとつ森林が消滅しているのに「酸性雨」の問題があります。

ヨーロッパなどの森林を枯死させた酸性雨のペーハーは4.5～5.4ですが、国内の降雨のペーハーは4.5～4.9でヨーロッパ並みです。

国内の最高は年平均で4.4。我が新潟県で新潟市大山町にある国の観測地点で記録されています。

この酸性雨のペーハーが「5」以下になりますと、土中のアルミニウム質が解け出し、森林を枯死させるひとつの原因となり、地下水に混入し水道水を通して人体に入り、蓄積されますと「アルツハイマー病」を発病させると言われています。

国内では酸性雨が降っているだけでなく、富士山麓、日光白根山、尾瀬のアヤマ平など全国各地で酸性雨による被害が見られるようになってきました。環境庁が先程発表したところによると、このままでは30年後日本の湖沼、河川には魚が棲めなくなると警告しています。

マスコミは日本の酸性雨は中国のばい煙などと報告していますが、確かに中国のばい煙も重大な問題ですが、日本に於ける自動車の排気ガスは増加しており、環境庁の発表では大気汚染の原因の5～7割は自動車の排気ガスとし、地球温暖化の原因の2割は自動車から排出される二酸化炭素だと発表しています。ちなみ

に2,000ccの自動車を60kmの速度で24時間走らせたとき排出する二酸化炭素の量は、直径24cm、樹高15mのカシノキが固定している二酸化炭素の量と同じなんです。

ヨーロッパなどでは、アイドリングに厳しい規制が行なわれています。ニューヨークでは、ディーゼルのバス、トラックは3分以上のアイドリング禁止、スイスでは信号、踏切では3台目以降はエンジン停止が義務づけられています。

国内では京都府は10万円以下の罰金を課す条例を制定し、兵庫県でも罰則のある条例が最近制定されています。

そのほか杉花粉症や松枯れなどに見られる大気汚染等が進行していき、
「緑の宇宙船地球号」は病んでいる状況から瀕死の状況になりつつあると言ってもいいのではないかと思います。

森林にかかわる水資源問題も大変重要になっています。高温小雨と言われた平成6年は、全国各地で飲料水が問題になりましたが、断水給水制限は1道1都26県に及び2,600万人に影響が出ました。

新潟県では21市町村28万3,000人の県民が給水制限を受けています。

笹ヶ峰、早出川ダム貯水率はゼロになり、笠堀ダムもあと1週間も降雨がなければ給水制限をせざるを得なかったのではないかとされています。

渇水現象は1970年以前は10年に1回であったものがそれ以降は4年に1回の割合になってきています。

国土庁の水資源計画では、2000年までの10年間に生活、工業用水とも40%水需要が増加すると予測していますが、この需要をまかなうには120ヶ所のダムが必要だが適地がない。莫大な費用と長年月を要するので、海水の淡水化事業を進めざるを得ないとしています。

アメリカでは、ダム建設は環境の破壊、莫大な経費がかかる等として、その建設を中止したとされています。国内では長良川河口堰問題もあり、国会内に超党派の国会議員による「公共事業チェック機構を実現する議員の会」が発足し、ダム建設問題の検討がすすめられています。

新潟県では、県の水需給見通しによれば、渇水年では平成2年から、平水年では平成12年から水需要はまかなえなくなると試算をしています。

「ダム」を建設すれば「水資源」も「災害対策」も大丈夫なのかというと、そうではありません。

建設省はダムの寿命を100年としていましたが、最近の国会で60%のダムで計画の2倍の速度で土砂堆積が進行していると答弁しています。

従ってダムの寿命を延ばすには、その上流に豊かな森林が必要なんです。土砂の流出量は良好な森林がある場合は、1ヘクタール当り年間2tであるのに対して、荒廃地では307tにもなりますので、林地開発は慎重でなければならないと思います。

日本の森林の現状はどうなっているか

について考えてみたいと思います。私がお世話になりました国有林では手入れを必要とする森林の約30%しか手入れが行なわれていません。

機構の統廃合、職員の縮減など他省庁に例のないリストラを実施しましたが、債務は増加する一方で今では3兆3,300億円にのぼり、そのため予算不足をきたしているのが原因です。

下田村には14,660ヘクタールの国有林が所在していますが、これを管理する職員は平成10年度末には全くいなくなるようになってきました。私有林でも同じです。1ヘクタールの森林を育てるのに50～60年の歳月を要しますが、それにかかる費用は400～500万円。ところが収益率はゼロという状況ですから、篤林家以外には山を育てようということにはなりません。現状は放置状態になっているところが殆どです。

それでは森林、環境を守るにはどうすればいいかということになりますが、ひとつは私たち1人1人が環境に負荷をかけないようにすること。林業が企業として成り立つようにすること。森林を育てるのに必要な資金は国が助成すること。木の良さを考え、住宅建設には国産材を出来れば地元産材を使用するようにすることなどが重要と考えられます。

最後に問題提起として、雨水の利用対策を考える必要性和街の中に森林公園を建設してはどうかと考えているところです。

私のまとめとしまして、環境を守るには森林の存在は欠かせません。その森林を守り育てるには、林業が「業」として成り立つ必要があります。

どうかトップリーダーである皆さんから今後ご支援を頂くとともに、啓発につきましてもお力添えをお願いしたいと思います。

最後になりましたが、貴クラブの益々のご発展と皆さん方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げ、私のつたない話を終わらせて頂きます。

ご清聴、誠にありがとうございました。

例会案内

三条RC	5月28日例会	卓話	五十嵐晋三会員
	6月4日例会	卓話	荻野保和会員

メイクアップをどうぞ

三条南RC	5月26日例会	クラブフォーラム
	6月2日例会	会員卓話

三条北RC	5月27日例会	クラブフォーラム
	6月3日例会	会員卓話

加茂RC	5月29日例会	夜例会
	6月5日例会	会員卓話

見附RC	5月29日例会	会員卓話
	6月5日例会	会員卓話

燕RC	5月29日例会	会員卓話
	6月5日例会	会員卓話
